

## 第3回子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

**開催日時** 令和元年11月28日（木）午後2時～4時5分  
**開催場所** 南砺市役所井波庁舎 3階多目的ホール  
**出席者氏名** 三谷直樹会長、西井秀子副会長、磯辺文雄委員、内山真寿美委員、河合朱希代委員、北清俊一委員、古嶋和代委員（代理）、斉藤優華委員、城岸栄委員、中川加夜子委員、福江怜委員、本多篠依委員、増田玲子委員、森田正人委員、山田誠委員、横山一乃委員、（16名）  
**事務局** 松本謙一（教育長）、村上紀道（教育部長）、河原洋子（福光保健センター所長）、武田秀隆（こども課長）、溝口早苗（こども課）、吉岡亘（こども課）、谷戸仁美（こども課）、嶋田沙由里（こども課）、道海沙妃菜（こども課）  
**欠席者氏名** 荒井有紀委員、尾田慎一郎委員、山田政寛委員、横山昌俊委員（4名）  
**傍聴人数** 0名

### 1. あいさつ

**会長** 県内で働く世代の健康に課題がある。男性は運動不足、女性は睡眠不足となっており、女性は家事・育児に追われるので、男性の役割が大事である。また、若者の3割が1日に2時間以上ゲームをしていて、学業や仕事に影響を及ぼしている。また、子どもの虐待や、県内でもDVの増加等子どもを取り巻く環境が悪化している。このような環境の中で将来を担う子どもをこれからどうしていくかが、この会議の一番大事な部分である。

子ども・子育て支援事業計画（案）については、前回のみなさまの意見等を反映させて、修正案を示している。今回がみなさまの意見をいただく最後の機会となるので、忌憚のない発言をしてほしい。

### 2. 協議事項

**事務局** 資料の確認、会議の公開等について説明。

**会長** 最初に協議事項（1）第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）（案）の第1章～第2章について。

**事務局** 最初に、第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画（案）の第1章～第2章の主な修正箇所について説明。

**会長** 事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

**会長** 第2章の赤字部分「6 第1期の振り返りと課題の整理」については、前回記載がなく新たに加わったと理解してよいか。

事務局 前は、アンケート調査結果のみだったが、今回は、第1期の基本目標ごとにアンケート結果等を振り返り、課題を明確化している。

A委員 ところどころで「まちづくり」と記載されているが、違和感がある。

事務局 第1期計画の基本目標の記載を踏まえている。

A委員 31頁では、都市公園の管理や児童遊具の修繕に取り組んだと記載されているが、桜が池の公園では壊れた遊具が放置されていると聞いている。

事務局 具体的な事例があるのであれば、担当課に確認したい。

会長 事故につながる恐れもあるので、早急に確認してほしい。

会長 31頁の基本目標5の身近な遊び場の提供に取り組んだということであり、アンケート調査結果でもニーズが高いようである。事務局はこの結果を踏まえて、遊び場が足りないとの認識に立ち、今後整備していくという考えで良いか。

事務局 そのような思いである。

B委員 31頁の「子どもたちが安全に育つ」という表現であるが、「安全に」という表現が気になる。

事務局 第1期計画の基本目標の表現がこのような表現になっているため、変更することはできない。第1期の評価ということで記載している。

B委員 28頁に「特別支援教育コーディネーター」とあるが、「市の」ということか。

事務局 市の特別支援教育コーディネーターのことなので、「市の」を付け加える。

C委員 30頁で放課後児童クラブを無料化しているということであるが、事業のあり方の検討が必要とあり、無償化は5年後も実施するのか。利用者は就労家庭であり、利用料の徴収について考えてもらえれば、利用者も責任を持って利用できるかと思う。

事務局 利用料の無償化も含めて今後検討していきたいと考えている。

D委員 「放課後児童クラブの利用料を無償化している」の記載内容の前に「現在」と追加記載すればどうか。

事務局 検討したい。

E委員 「南砺の風土・・・」という基本目標が第1期であり、内容があっていないという指摘をさせてもらった。その後、「南砺の風土・・・」という表現自体がなくなっており、切り捨てられたのか。

事務局 基本目標のことについては、第3章で説明します。

副会長 16頁の女性の年齢別労働力率についての記載について、30～39歳の労働力率が何と比較して高いかわからない。数値は、確かに高いものの、何と比較したかという記載が必要ではないか。

事務局 全国や他市との比較等があればいいということか。

会長 全国や他市等のデータ比較が必要である。

副会長 目次の第2章の5に「現行」が残っている。また、第3章の4「施策の体系図」とあるが、「図」は必要ないのではないか。

事務局 「現行」は削除する。「図」は検討したい。

会長 次に第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画（案）の第3章～第4章について。

事務局 第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画（案）の第3章～第4章の主な修正箇所について説明。

会長 事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

事務局 E委員の指摘「南砺の風土・・・」については、基本目標1の「未来をひらく子育て支援」の重点施策（2）の「地域の自然や人材を生かした幼児教育・保育の充実」に盛り込んでいる。

会長 第1期と表現が変わったことについて、E委員いかがか。

E委員 第1期では「南砺の風土」がウリだったのではないか。今回無くなり、南砺市らしさが無くなってしまった。

事務局 第2期計画では、子ども、家庭、企業や地域、配慮が必要な子どもという形で整理した。重点施策（2）で「南砺の風土」が含まれるという認識で表現したものである。

F委員 現在の重点施策（2）の「地域の自然」という表現を「南砺の風土」に変更してもよいのではないか？

事務局 「南砺らしさ」を第2期計画でもきちんと表現してほしいという趣旨だと思うが、「南砺らしさ」をアピールできるところを検討したい。

C委員 46頁の基本方針1の「生きる力を育む幼児教育・保育の充実」で、子どもの主体的な遊びが非認知能力を高めることになると思うので、重点施策（2）の「自己肯定感」の説明に、「子どもの主体的な遊び」を追加すればどうか。

事務局 「子どもの主体的な遊び」という表現を追加する。

D委員 47頁の主な事業6の食育の推進では、小学校は対象となるのか。

事務局 小学校でも食育をもちろんやっている。幼児教育・保育のパートなので、「保育園等における」という表現としている。

会長 どこかに、小学校への取組は記載されているのか。

事務局 ここに追記したい。

D委員 先日小学校でも体験し、非常に良い取組と感じた。小学校での記載もしたら良いと思う。  
41頁の施策体系について、SDGsのマークがあるが、知らない人もいるかと思う。説明が必要なのではないか。

事務局 SDGsや食育についての記載も対応したい。

副会長 58頁の主な事業57の数値目標が大幅に増えている。子ども食堂を増やすことが南砺らしさなのか。59頁の主な事業59では郷土愛着といいながら、減少している。これでは目指すべき方向が見えてこない。祭りや地域行事への参加はもっと増やすべきで、南砺らしさにつながると思われる。55頁の主な事業43では、祖父母同居率が南砺は高いので、もっと重点的に取り組んで高い目標値としては良いのではないか。59頁の主な事業61のワークライフバランスの啓発は、年1回では向上するはずがないので、管理職を対象とした講座の開催等も考えないといけない。関係課と協議してほしい。

事務局 58頁の主な事業57については、今年度から市社協による地域食堂のモデル事業の取組みが始まり、今後も推進していく予定である。直接的な子育て支援につながらないかもしれないが、

地域での交流が進むきっかけとなることもあるので、家庭の子育て力も向上し地域の子育て力や意識の醸成にもつながるものと考えており推進していきたい。

59 頁の主な事業 59 については、県の事業であり、補助金で行っている。南砺市の割り当ても決まっているようなので、増やしたくても県補助の上限がある。

55 頁の主な事業 43 については、来年度から実施する予定である。目標値を 8 か所で設定しているが、再検討したい。

会長 あくまでも目標なので、目標を上回って実施する分には問題ないはずである。

事務局 60 頁の主な事業 61 については、担当課と協議して再検討したい。

G 委員 53 頁に中学生の表記があり、54 頁の主な事業 40 の事業も該当する。乳幼児とのふれあいの取組もやっているが準備や安全面で大変である。学校教育の観点で行うのであれば、学校に出向いてやる方法もあるのではないかと。今すぐということではなく、検討してほしい。

事務局 家庭科や保健体育の時間の中でできないか検討したい。

H 委員 14 歳の挑戦の際に私の園も参加したかったが、校長先生から、委員の園は遠いので行けないと言われた。協力したいが、どうしたらよいか。学校に行っても良いという親御さんもいるので、学生と赤ちゃんとのふれあいの機会を増やしていければと思う。

副会長 高校の家庭科では、1 年生全員が赤ちゃんに触れ合うという授業が年 1 回ある。

事務局 福光高校は福光児童館で実施しており、福野高校では学校に出向いてやっている。平高校でも地域の赤ちゃんが学校に来ている。今後中学生も対象にやっていければと思う。

I 委員 中高生とのかかわりについて、寺子こどもえんでは、ボランティアで夏休みとかで手伝いに来てくれたりしている。中学生では、以前寺子に来ていた子どもが自主的に来たりしている。子ども食堂については、寺子のことかと思う。世に言う貧困対策ではなく、孤食や食育の観点で行っている。南砺市独自の食材や旬の食材なども扱っており、命をもらっているという取組である。貧困の視点では、南砺市は同居が多いので何とか食べているのかなと思う。小学生の長期休業中の昼ごはんの問題に対して、支援にもなるかと思う。寺子は独自の考えで行っているため、是非、寺子を支援してほしい。

事務局 民間も含めて出来るだけ地域における支え合いの仕組みの裾野が広がれば良いと思う。検討したい。

副会長 子ども食堂を増やせ増やせという方向となっているが、本来家庭がやるべき事ではないか。

それを抜きにして、そのような子どもを集めてというのが、南砺市の方向性なのか。

事務局 子どもの側からも親の側からも、両面の居場所づくりを推進したい。

会長 親の役割や意識も明確にしてほしい。

事務局 親の目的意識等も明確にして推進していく。

J委員 57 頁の安全・安心について、熊の被害が出ているが、野生動物から子どもを守る施策等も必要なのかなと思う。また、63 頁の障害の「害」「がい」の整合についても確認してほしい。

事務局 障害の「害」「がい」の整合について、使い分けも含めて確認する。

会長 安全・安心面では、南砺市でも熊が出現している。今後行政センターが縮小される中で、体制づくりが心配である。

事務局 今年度は人身被害も出ているので身近な問題である。計画の中に記載するかどうかはともかくとして役所の中で横断的に取り組むべき事である。

K委員 64 頁の主な事業 80 について、保育園でも外国の方も増えてきている。日本語が全く分からない子どもや保護者もいるので、保護者対応もさることながら、子どもとのコミュニケーションをとることも大変である。保育園に対しても対応してほしい。

事務局 64 頁の主な事業 79 に保育園への対応も記載している。

会長 英語を話す方は結構いるのかもしれないが、英語圏以外の方も多いような気がする。

K委員 保護者へも手紙も書いたりしているのだが、伝わらなかつたりしている。コミュニケーションが取りづらい状況がある。中国の方は、子ども（3歳以上）が保育士とコミュニケーションで対応したりするが、言語の壁が高く、伝わりきらない場面が多い。

会長 現在は、翻訳機もあると思うが、対応を考えてほしい。

事務局 保育園の現場では苦労しているという風に認識している。人材不足やお金の問題で対応できない事情もあつたりする。言葉の壁と習慣の壁もある。翻訳機を導入すればすべての問題が解決しないとの認識もある。今までよりも細やかに対応していきたい。

F委員 外国へつながる方への支援について、現在の体系の位置付けに違和感を感じる。大胆な意見

かもしれないが、基本目標 1 に位置付けて、南砺の子どもにも世界へ目を向けるようにする方がよいのではないか。

事務局 その意見だと、障害児施策等も移動する必要があるが出てくる。現状は 4 つの柱の分け方で考えている。

会長 外国の方は排斥すべきではないという考えでいかなければならないと思う。

事務局 検討したい。

D委員 65 頁の主な事業 84 のスクールソーシャルワーカーについて、どこにいて、いつ対応するのか。

事務局 不登校等の問題がある際に、家庭訪問したり親や子どもと面談したりしている。スクールソーシャルワーカーが表に出る時は、大きな課題を抱えているときである。

会長 次に第 2 期南砺市子ども・子育て支援事業計画（案）の第 5 章以降について。

事務局 第 2 期南砺市子ども・子育て支援事業計画（案）の第 5 章以降の修正箇所について説明。

会長 事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

L委員 課題も把握し、今後解決にあたってほしい。財政的に厳しいという言葉もよく聞こえてくるが、公共施設も含めて子どもを支援する体制をとり、進めてほしい。

会長 53 頁の主な事業 34 の子育て支援センターの充実について、あまり使われていないという調査結果があって、活用する必要があると言いながら、現状値から目標値まであまり上がっていない。

事務局 少子化の影響もあり、児童数は減少していく。また、0 歳から保育園に預けるケースも増えており、利用者数は増えていかないことが予測される中、現状維持以上の数値としている。

D委員 保育の無償化が始まって、私は土曜日が仕事であり、土曜日に預ける場合は、毎月就業証明を書かなければいけなくて大変である。わずらわしく感じる保護者も多いと聞いている。

事務局 公立ではそのような書類は求めている。私立での取組だと思われるので、その園にお問い合わせしてほしい。

会長 最後に協議事項（2）その他について。

事務局 今後のスケジュール予定等について説明。

会長 事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

特に意見なし。

会長 これで会議を終了したい。

### 3. 閉会のあいさつ

副会長 本日は、貴重な時間をいただき、積極的なご意見をいただいた。これらの意見を検討して、また、「南砺らしさ」についても表現して最後の仕上げにしてほしい。

教育長 活発な意見をたくさんいただき、ありがとうございました。何のためにこの計画を作成するのかということをもう一度考え直し、本日いただいた意見をひとつひとつ精査してより良い計画にしていきたい。

午後4時5分 終了